

葉月：第17話「多くの課題にチャレンジできた宿泊学習」

5年生が、8月5日から3泊4日の宿泊学習に出かけました。当初台風により、開催すべきかどうか思慮いたしましたが、（進路となった地域の方には申し訳ないのですが）台風の進路が広島県からだんだん離れていったことと、国立江田島青少年交流の家が、**江田島市の指定避難所**になっているため、施設内であれば台風が来ても安全であることが確認できたので、近隣の学校とも協議して、予定通り実施しました。（課題①クリア）



しかしながら、台風の湿った風が吹き、連日35度を超える猛暑となったので、今度は熱中症予防が大きな課題となりました。初日のメイン行事は野外炊飯でした。野外炊飯の定番はカレーライスですが、本校は、熱中症予防のために、メインディッシュはすき焼きにして、温かいご飯は業者に注文いたしました。理由として、カレーライスの場合、カレーとごはん用の火を焚くために、かまどのそばで長い時間火の世話をしなくてはならないこと、カレーと飯盒の汚れ落としが大変であること等が挙げられます。実際、**15分ごとに給水タイム**を取り、江田島在住の坂小学校の先生からいただいた**氷をビニール袋に入れて、首筋やわきの下を冷やし**ながら料理を作りました。おかげで、だれも体調崩すことなく、来た時よりも美しいくらい片づけることができました。（課題②クリア）



（課題②クリア）



宿泊学習に臨むにあたり、3つのめあてを設定しました。その一つが集団行動のマナーを守ることです。今年度から、体育館への出入りは無言で行うことを全校で取り組んでいます。その成果を示す絶好のチャンスととらえました。宿泊学習当初から教職員全員が組織的に指導し、**楽しい気持ちを抑えて、施設内移動を一行で黙って行うことができた**ように思います。（課題③クリア）

めあての二つ目は、協力して相手を思いやることです。

右の写真は、カプラを行っているところです。班ごとに男女が力を合わせて、いずれも大作が出来上がりました。目標を設定した体験活動により、**班のみんなが協力することで団結する心が生まれ、絆が深まり、達成感を味わう**ことができる。宿泊学習のよさがここにありました。（課題④クリア）



最後は、江田島の自然に触れ、自然の神秘に気づき、自然を愛する心を育てることです。筏の上で波に揺られながら、「ウミホテル」を観察し、翌朝は、海辺の生物を観察しました。本校も海のそばに建っていますが、**江田島の海の生き物に触れて、自然を愛する心をさらに育てることができた**ようです。



（課題⑤クリア）

校長 寺岡 成希